

「もったいない」の心を、必要としている誰かと地球のために ～もったいぶるは、もったいない編～

10年前に会社を退職し、奥さんと悠々自適の生活を送っている西沢さん。
退職した後、好きなものを買って集めていたら、家の中がすごいことに...
今日は、自分たちが元気なうちに思い切って片付けようと、奥さんや帰省した息子と
一緒にはじめました。

ある市民とえこねことの会話

さて、この部屋から片付けるか。えーっと、あ、このイスなつかしいな～。
まだ使えるし、取っておくか。

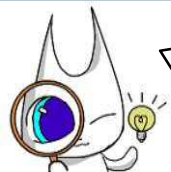


ちょっと！お父さん！ちゃんと分けてくださいよ！
こんなイスいるんですか？なんか高そうだけど。いつ買ったんですか？私の知らない間に。とにかく、これは粗大ごみですね。粗大ごみシールを貼って可燃ごみの日に出しますよ。



ちょっと待ったあ～！そのイス、捨ててイスか？
と、いう冗談はさておき、その高価なイス、ただ捨てるのはもったいないと思いませんか？

ほら、ね？やっぱり捨てるのはもったいないでしょ？
このまま家にとっておこうよ、お母さん。昔の人は、モノを大事にしてこうやって取っておいたんだよ。



いえ、それももったいないですよ！
このイスを欲しいと思う人が世の中にはいると思います。フリーマーケットに出品してお譲りしてもいいですし、価値のあるうちにリユースショップへ出してみてもいいですか？

リユースショップってリサイクルショップのこと？私たち行ったことないのよね。
フリーマーケットも見たことはあるけど、出品したことなんてないわ～
なんだか、今からフリーマーケットやリサイクルショップへ挑戦する気にはならないわよね～



え？お母さんそうなの？
リサイクルショップをもっと使ったほうがいいよ。いらなくなったものが出たときは、リサイクルショップへ持っていったほうがいいよ。



裏面へ続く

「もったいない」の心を、必要としている誰かと地球のために
～もったいぶるは、もったいない編～

ある市民とえこねことの会話

そうねえ、だけど、なんだかおっくうで。
ただ、ごみにして捨てるのはもったいないわよね。



はい、そのとおりだと思います。ごみとして出すと、処理するためにはお金がかかってしまいますし、地球温暖化にもつながります。

リユース（再使用）というのは、製品の使用年数が延びて、その分ごみの減量効果があるとされています。製品の平均使用年数が長くなるということで、平成22年度に環境省が行った調査によると、イスの場合約1.1年長く使えたとされています。

ごみが減量になるのはわかったけどさあ、日本の経済としてはいいの？その分ものが売れなくなるんでしょ？おれも若いときにはさあ、お客さんにたくさん買ってもらったよ。



何か買うとなると、やっぱり新品のほうがいいし、使い終わったら捨てちゃうわよね～



いえいえ、国の調査によりますと、リユースの市場規模というのは、3兆1千億円にもなると推計されています。ただ、リユース品購入経験のある消費者は3割にとどまるなど、まだまだ市場拡大の余地があります。

リユースのコツは、価値あるものを価値のあるうちに早く譲ることです。ものをご自宅で眠らせない、退蔵しないことがポイントです。

わかったわ。息子に聞きながら、リユースにチャレンジしてみようかしら。ね、お父さん。



今度一緒にリサイクルショップへ行ってみようよ、お父さん、お母さん。なかなかおもしろいよ？



わかったよ。さて、片付けの続きやろうかな。早く終わらせようっと！

